

ドローンを活用した大豆病虫害防除実演会を開催しました

上田農業改良普及センターでは、8月19日にドローンによる大豆防除の実演会を上田市塩田のカントリーエレベーター及び近隣の大豆畑で開催しました。

当日は、大豆生産者及びJA関係者など約50名が参加し、ドローンへの関心の高さがうかがえました。

この実演会は、現在大豆栽培で大きな負担となっている病虫害防除作業の労力削減やコスト軽減を図る目的で開催したものです。

当日は、関東甲信クボタの担当者からドローンの機種説明等がされ、続いてドローンの実演を行いました。実演は、AI・ICT等の技術利用により一定の高度を維持した飛行や散布場所を設定しての飛行が披露されました。安定した飛行で、音の小ささにも多くの参加者が感心していました。

実演会終了後「後継者が入ったので、導入したいと思うが、どのような手続きをしていけばいい?」と、さっそく担当者に相談されている方がいました。

これからも、農業分野でのドローンの活用など、スマート農業の情報を発信していきたいと思えます。

